

守山まるごと活性化 議事要旨

作成者: 大屋

会議名: 令和4年度 第2回守山学区まるごと活性化プラン A プロジェクト会議

日時: 令和4年7月2日(土) 午前 10 時から

場所: 守山会館2階 図書室

出席者: 井上代表、徳富、竹村、山田、林、余川、杉本

(行政)市民協働課 朝日 守山会館 川上、大屋

使用資料: わがまちミーティングについて、自治会の課題解決に向けた検討

議題

1. わがまちミーティングについて
2. 自治会の課題解決に向けた検討について

会議要旨

内容

全体

(代表) このプロジェクトAは、ほかの地域では見られない自治会運営をテーマにしている。本テーマは一朝一夕で成果が得られるものではなく、わがまちミーティングもすぐに成果を求めるのは難しいが、何もしないよりも進めているのではないかと思います。まるごと活性化プロジェクトについては、来年度（10年目）で一定終結をすると聞いているため、来年度に向けてまとめていければと考えている。

1. わがまちミーティング

●実施時期: 昨年度と同様（2月）

…龍谷大学と事務局で調整

(代表) 今年も龍谷大学の只友教授と学生さんたちにご協力いただき、開催できればと考えているが、皆さんのご意見は。⇒異議なし

(PJ 委員) 今年度が最終回になるのか。

⇒(事務局) 来年度まではまるごと A プロジェクトで継続できると思う。それ以降も続けていけると思うが、実施主体が変わるかもしれない。

(PJ 委員) 予算は市民協働課で対応しているのか。⇒(事務局) そのとおり。

(PJ 委員) 郵送費用がかかるため、インターネットを活用した方向も考えていければどうか。

⇒(事務局) インターネットについては、今年からアンケートの回答を郵送かインターネットか選べるようにした。半数まではいかないが、かなりの人数がインターネットで回答している。

(PJ 委員) インターネット回答は高齢者には難しいからかもしれないが、意外と人数が少ない印象。

(PJ 委員) 当日の参加人数は一定数を設けているが、アンケートの回答は全員から回答をもらってもいいくらいなので、インターネットの活用を続けていければ。

2. 自治会の課題解決に向けた検討

(1) 各委員のあり方検討の状況について

(PJ 委員) 民生・児童委員のあり方について提言のあった事項を検討するために「組織運営強化委員

会」を月1回以上会議するとあるが、この会議に出席すること自体が負担に繋がっているのではないかと懸念する。

(PJ 委員) 負担が楽になるようにあり方検討をされていると思っていたが、「民生委員のあり方はこれでいいのか？」という厳しい内容の話をしているように感じてしまう。そうなればまた民生委員は疲れるのではないか。

(2) 委員の推薦について

(PJ 委員) 民生委員の補充をするのはとても大変なのに、なぜ自治会単位で推薦しなければいけないのか。国から押し付けられていることを、市から押し付けられてもなかなか決められるわけがない。まず、サラリーマンはできない。平日は基本的に難しい。土日であれば貴重な家族との時間を潰すことになる。市から給料を出して民生委員の雇用をすればどうか。

(PJ 委員) 民生委員を決めるうえで、自治会から推薦しなければならないというルールはない。憶測だが、昔、勝手に自治会の中から民生委員を決めてほしくない、という意見が出て、今の形式に収まったのではないか。つまり、昔は権利として存在していたことが、今となっては義務になってしまっている「権利の義務化」が起こっていると感じる。

(PJ 委員) 元々地域の方に福祉感は備わっていないのに、市や市社協は我々にボランティアで福祉の増進をするように指導してくる。市社協は月給をもらっている一方、民生委員は少ない手当で活動をしている。そんな活動を依頼する自治会の立場になって考えてほしい。断られて、断られて、大変な思いをしている。

(PJ 委員) 自治会から見れば、民生委員の推薦は「お手伝い」の感覚。行政機関は、自治会へお願いしている立場だという認識をしっかりとっていただきたい。

(PJ 委員) 推薦まではできるので、頼みに行くのを市がやってほしい。

(PJ 委員) 本来、民生委員は自治会長が推薦しなければならないという決まりはない。それにも関わらず自治会長が推薦しているのは、行政の言い分としては、自治会の中で民生委員に適している人物をよく知っているのは自治会長だからだということ。自治会長から民生委員に適している人物を推薦することまではできるが、その先の民生委員を引き受けてほしいとお願いするところまで行わなければならない。自治会長としては、自分の代で民生委員をなくすことはできないので、現状、必死で探している。

(3) 委員の仕事内容について

(PJ 委員) 民生委員の活動について、国が本当に期待していることは何か。協議会や部会等いろいろな組織があるが、本当に国が求めていることか。求めているとすれば、どういった趣旨で求められているのか。本来は近所の人を見守るくらいの気楽な活動でいいのではないか。

(PJ 委員) 民生委員の担当部署はどこか

⇒(事務局) 推薦に関わっているのは市健康福祉政策課、実際の活動については社会福祉協議会。

(PJ 委員) 社会福祉協議会はどのような位置づけで民生委員活動との関わりを持っているのか。

(PJ 委員) 自治会の中でも民生委員の仕事が多い。私たちも気づかずに負担をかけていた部分はあると思うので、見直していかなければいけない。

⇒（事務局）例えば敬老会への訪問であれば、民生委員の仕事にも関わる部分が多いが、草刈りへ自治会役員と呼ばれるのは、民生委員の仕事とはちょっと違うなと感じておられる方もいると聞く。

（PJ 委員）児童委員だと、親子ほっとステーションに来てもらうのはいいのかな。

（PJ 委員）割の合わない仕事だという認識が広まっている。

（PJ 委員）1 から 100 まで手を付けると忙しいが、できることだけやっていけば本来は忙しくないはず。それなのに、市や市社協から仕事を依頼され、忙しくなっている。依頼する側は、仕事を作って忙しくさせたいのか。民生委員自身が楽しくて仕事を増やす分には問題ないが、言われて仕事が増えるのは苦になると思う。民生委員が楽しくて仕方ないという人が現れればいいのに。

（PJ 委員）地域によって差があると思うが、委員を任せられれば何か新たにしなければいけないと思ってしまうのではないか。そしてそれを引き継いだ方は今までやってきたことを潰してはいけないと思ってしまうのではないか。市や市社協から「民生委員の仕事は基本的にこれだけでいいです」ということを示してほしい。

（PJ 委員）部会をやめるのはどこが決めるのか。

⇒（事務局）民生委員児童委員協議会になると思う。

（PJ 委員）国が求めていることと実際に行っている仕事を書き出して対比表を作成してほしい。

（PJ 委員）もし国が求めていることが多く出るのであれば、そんなに多くの仕事をボランティアでするのはどうか、と言いたい。

（PJ 委員）民生委員制度ができた時代から今の時代は変わっているので、時代に沿った変革をしてほしい。

（PJ 委員）研修はいらない。研修が必要なほどの仕事をするのであれば、給料をもらわなければいけない。とにかく研修や会議をやめてほしい。

（4）その他

（PJ 委員）5 年ほど前から、地域のクリニックと一緒に地域の福祉を進めてほしいと依頼されている。高齢化が進み、福祉行政がパンクしつつあるため、要支援や要介護の方が増えており、自治会で見てほしいということを言われている。

（PJ 委員）長年やっている人が長にいるため、意識改革ができていない。

3. その他

（代表）もともと自治会運営について 190 項目以上の課題をまとめたものがあつたと思うので、民生委員のことも 1 つではあるが、そのほかのことも追加すること。全部の課題を書き出し、それぞれこのように解決した、ということを記載すること。

（PJ 委員）ホームページに自治会の様式を掲載しているが、入力したら様式が崩れるものや、年度が変わっていないものなどがあるため、改善してほしい。

決定事項	・わがまちミーティングの開催時期：2月（事務局と龍谷大学で調整） ・次回会議 9月3日（土）午前10時から
次回以降について	・わがまちミーティングの開催有無、テーマ等の検討 ・委嘱委員の課題解決に向けた検討